

I 令和6年度 稲美中学校教育目標

—豊かな心を持ち、自立する生徒の育成—

「自主・創造・友愛」の校訓と「根の養い教育」の伝統を基盤に、生徒一人一人の個性を生かし、その能力を伸ばし、個性豊かで「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成に努める。

《重点目標》

1 めざす生徒像

- ①命を大切にし、善悪の判断のできる生徒
- ②夢と志を持ち、主体的に取り組む生徒
- ③素直で思いやりがあり、粘り強く努力する生徒

2 めざす教師像

- ①豊かな心と人間性の涵養に努める教師
- ②使命感と倫理観を持ち、生徒一人一人の良さや可能性を引き出す教師
- ③研修と自己の向上に努める教師（各教科、道徳、特別活動等）

3 めざす学校像

- ①ともに学び合い、支え合い、高め合う学校
- ②生徒の自己指導能力が高く、ルールとリレーションが大切にされる学校
- ③家庭、地域との連携・協力が円滑に行われ、信頼される学校

《努力目標》

(1) 知識基盤社会の中での「確かな学力」の育成

- ・繰り返し学習や少人数授業などで基礎・基本的な知識・技能の定着を図ります。
- ・授業の中で、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育てます。
- ・主体的に課題を探究する態度や学習習慣を確立させ、学ぶ力を育てます。
- ・学びが、現在の生活や将来の生活に結びつくよう教示します。
- ・自らの意思と責任で主体的に進路を選択し、努力を積み重ねる力を高めます。

(2) 命の大切さや人間尊重の精神など「豊かな心」の育成

- ・「特別の教科 道徳」を充実させ、学校の教育活動全体で道徳性を育てます。
- ・実践につながる資料を活用し、心に響く授業を工夫します。
- ・伝統や文化に対する理解を深め、豊かな芸術文化活動を進めます。
- ・人間尊重の精神を育て、人権が尊重される学校文化を築きます。

(3) 集団活動による自主性、自律性の育成

- ・豊かな友人関係を育み、心の通い合う学級づくりをします。
- ・体験活動、特別活動などにより、主体的・実践的な態度の育成に努めます。
- ・自ら考え、主体的に取り組む体験活動により、生徒の豊かな人間性と社会性を培います。
- ・生徒会活動に、より主体的に取り組めるよう支援します。

(4) 生徒指導の充実

- ・小中連携を進め、自己指導能力を育てる開発的生徒指導を推進します。
- ・カウンセリングや教育相談により生徒の内面的理解に基づいた指導をします。
- ・いじめ、不登校等の課題については未然防止、早期発見、早期対応に努めます。

(5) 特別支援教育の充実

- ・一人一人の支援が必要な状況に応じ、きめ細やかな対応に努めます。
- ・社会の一員としての自覚や責任を持ち、積極的に生きる力を育成します。
- ・特別支援学校等と連携し、交流や共同学習を通して社会性や将来の自立に向けた力を培います。
- ・全職員で共通理解のもと、学校全体で取り組みます。

(6) 安全教育の充実と自助・共助による防災教育の推進

- ・自転車の安全運転と運転マナーの指導を継続的に行います。
- ・実効的な訓練を通して、さまざまな災害に対応できる力を育みます。
- ・命の尊さや助け合いの大切さなど、人間としての在り方・生き方を考えさせる防災教育に取り組みます。

(7) 情報教育の充実

- ・情報端末の持つ危険性を想像できる生徒を育てます。
- ・情報モラルの指導は、保護者、関係機関との連携を図ります。
- ・情報機器を使い主体的に収集、選択、処理するなど、情報活用能力を育てます。

(8) 食育の充実

- ・食生活を考え、栄養のバランスを意識する生徒を育てます。
- ・食育に関する啓発活動を行い、保護者との連携を図ります。
- ・学校教育全体で食育に取り組みます。